



甲斐市立玉幡小学校 学校だより 第27号

# チーム玉幡

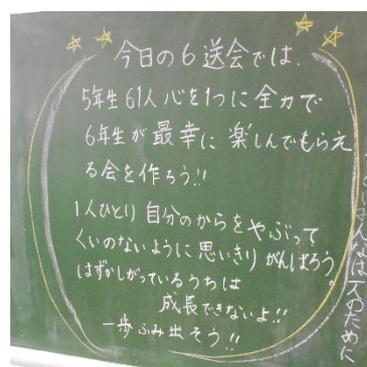
令和3年3月4日

学校長 丸茂和也

## ♪心を贈る～6年生を送る会より～♪

2月26日（金）10時15分より、6年生を送る会が行われました。今年は「6年生へ 全ての感謝を今ここに」をスローガンとして、新しい児童会役員・5年生を中心に、この日まで準備や取り組みを続けてきました。

また感染症予防のために、前後のセレモニーは放送で行い、体育館への集合は、全校を1～3年、4～5年の2つに分けて、それぞれが6年生の発表を見て、その後学年ごとにメッセージを送る、また1～5年生までの発表は、前もって録画しておいて、それをそれぞれ教室で見るといった形で行いました。



6年生の発表は、上手さと見る人を楽しませる工夫があり、体の動きや表情からも思いが伝わってきて、他の学年の6年生への憧れがより大きくなるような、すばらしいものでした。



また1年生から5年生までの発表は、一生懸命な気持ちが、画面からも伝わってきて、どれもみんな6年生に喜んでほしい、6年生にありがとうを伝えたいという心がいっぱい感じられる内容でした。





会全体を通して、ありがとうを伝えようとする心とその思いに応えようとする心にあふれて大きな温かさを感じました。多くの人々が一つの目的に向かって心を一にするすることで、全ての人が幸せな気持ちになることができる経験をまた一つできたと感じます。このことはきっと未来に生きてくると思っています。みんなが温かい気持ちになれるすてきな時間が流れました。

## － 10年たっても…あの時を忘れない－

2011年3月11日から10年が経とうとしています。「当たり前が幸せと知った」そのことを感じる機会は折に触れあるものですが、東日本大震災の時はその思いをこれほど大きく感じたことはありませんでした。あの日かつて経験したことのない揺れに襲われ、報道では目を疑うような、これは現実なのかと思うようなことを実際に目にして、驚きや悲しみ、命の大切さ、何気ない日常がどれほど尊いことなのかなど、多くのことを考えずにはいられませんでした。

本校の子供たちも東日本大震災のときは、生まれていなかったり、小さかったり、おそらくその記憶はないと思います。ですから、そのことを大人が伝えなければならないと思います。今年は感染症対策を何より優先しなくてはならない状況でしたが、10年たっても決して忘れてはいけない「3.11」に寄せて、「自分の命は自分で守ること」や「当たり前の大切さ」を機会あるごとに子供たちと共に考え、大切なことに思いを馳せる機会にしていきたいと思っています。



## ♪ 年度末・年度初めの予定について ♪

今年度もあと16日で修了となります。改めましてここまでの教育活動へのご理解ご協力に感謝申し上げます。「終わりよければ全てよし」のことわざのように、年度末をより良きものにしていきたいと思っています。残りわずかではありますが、変わらぬご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

今年度末及び年度初めの主な予定をお知らせします。例年と違い、4月の年度初めは、入学式と1学期始業式を別日に行いますのでご承知おきください。

3月25日（木）令和2年度修了式

26日（金）学年末休業日～31日（水）、離任式

4月 1日（木）～4日（日）全学年学年始休業日

5日（月）新6年生登校（8：40までに）、入学式準備

6日（火）入学式、登校は新1年生と6年生のみ、2～5年生は休業日

7日（水）新任式・第1学期始業式 3校時日課（全学年登校）

※持ち物や詳しい時間等は「学年だより」をご覧ください。



